

おおとり

- ◇平成20年節分祭風景……………①
- ◇真実の世界のお話(27)……………②
- ◇古事記を読む(5)……………③
- ◇お知らせ……………④

平成20年節分祭風景

◆◆ 浅草 鷲神社社務所



平成20年2月3日撮影

夏 2008
平成20年
No.42

鳥居くぐって開運招福・例祭 西の市・11/5(水) 11/17(月) 11/29(土)

魅力の世界

葉室 頼昭

この頃、世間では何かと二十一世紀、二十一世紀と叫んでいます。これはキリストが生まれてから地球が太陽の周りを二千回ちょっと周ったというだけのことです。その約二千回周る間に、人間は我欲の限りを尽くして、やりたい放題やっちゃいました。もう、地球が破滅する寸前まで来てしまった。それで世界中の人が皆、口には出さなくてもこれを不安がって、何とか良い世の中にならないかなと思って、ことさら二十一世紀と叫んでいるのではないかと思います。

それで二十一世紀がどういふ世紀になるのかと考えた時、私は「魅力」の世界がやってくるのではないかと思います。

「魅力」の漢字は難しい字ですが、あくまでも中国の字で「魅」は、物の怪とか、だますという意味の漢字です。おそらくは日本語の「みりょく」に漢字をあてはめたから、こういう文字になったのでしょう。本当の意味は、「み」を漢字であらわすと「御」という字にあたり、「みりょく」＝「御力」ではないかと思います。

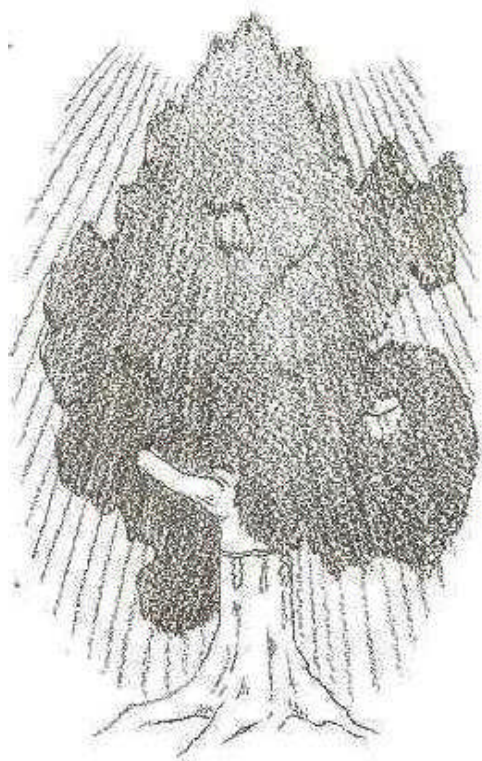
「御」は尊敬を表わす丁寧な言葉ですね。ですから「御力」とは、素晴らしいお力、すなわち神様のお力のことだと思うのです。

なぜなら、神社では神様のものはすべて、「御」がつく。食事は、御食(みけ)。お酒は、御酒(みき)。神様のお社は、御殿(みあらか)。扉は、御扉(みとびら)、前に下がっているのは御簾(みす)。他にもいっぱいあります。ですから、「魅力の世界」というのは、神様のお力が現れる世界です。二十一世紀は、神様の世界になると私は思っています。

神様の世界というと、バラ色の世界のことだと、多くの人は考えるのですが、そうではありません。神様の世界に順応した人だけが生き残る世界です。

神様の世界を一言では説明できませんが、その一つは「信頼」です。神様は、絶対に裏切ることはないですから、これからは信頼が求められる世界がやってくるのです。

今の日本では、信頼がゼロに近いような、乱れた社会になっています。言葉は悪いかも知れませんが、企業が倒産すると、本当は経営者の能力がなくて倒産したのに、バブル経済が崩壊したせいにする。政



治家でも、言っていることと、やっていることが違う人がいっぱいいる。詐欺で人を騙したり、たいした理由もなく殺人が起きたり、凶悪犯罪が増えてきたのも、人間関係に信頼がなくなったからではないでしょうか。

今までは、真面目に生活していると損をするとか、目先の欲で効率よく立ち回ったほうが得をするという考えで、やってきたかもしれません。ですがこれからは、そういう信頼がおけないものは通用しない世界、信頼あるものだけが生き残る世界になっていくでしょう。

ところで、春日大社にも毎日大勢の方がお参りに来られます。これは春日の神様に魅力があるから、皆さんがいらっしゃるんだと思います。神様が御力を発揮されているから、皆さんが、「春日さんに行こうかな」と思われるのです。

それと同じで、人間でも魅力のある人になると、その人のところに、たくさんの方がワーッと集まってきます。日本人は本来、人を喜ばせる生活をしてきました。それに戻って、自分のことばかりでなくて、周りの人のために一生懸命になって生活する。親を喜ばせる。祖先を喜ばせる。神様に喜んでいただくという生活をする人が信頼され、魅力がにじみ出てきます。

個人の問題だけではなく、企業もそうです。企業も、魅力ある企業にならなければ滅びていきます。何かだまして、見てくれだけで商売しようというのは、もう通じない。本当のもの、皆を喜ばせるもの、魅力あるものを作っていかないと、駄目ですね。

古事記を読む (5)

禊祓と神々の化生

ここに到って伊邪那岐命は「私は、見る目も厭わしい穢れた国に行ってきたので、この身の禊をしよう」とおっしゃって、筑紫の日向の橘の小門の阿波岐原に行き、禊祓を行いました。

そうして、投げ捨てた杖から衝立船戸神（ツキツツトノカミ衝立の意味）が、帯からは道之長乳齒神（ミチノカミ長い道を掌る）、袋からは時量師神（トキヤシカミ不詳）、衣からは和頭比能宇斯能神（ワヅラヒノシカミ煩わしいの意味）、袴からは道俣神（チマカミ分かれ道を掌る）、冠からは飽作之宇斯能神（アキガヒノシカミ不詳）、左手の装身具からは奥疎神（ウサカミ沖に遠ざかるの意味）・奥津那藝佐毘古神（ウツギサヒコカミ沖の汀の意味）・奥津甲斐辨羅神（ウツギイハラカミ沖と汀の間の意味）、右手の装身具からは邊疎神（ヘザカミ岸に遠ざかるの意味）・邊津那藝佐毘古神（ヘツギサヒコカミ岸と汀の間）がお生まれになりました。

この十二柱の神は、伊邪那岐命が身につけていたものを脱ぐことによって生まれた神である。

そうして、伊邪那岐命は「上の瀬は流れが速すぎる。下の瀬は流れが弱すぎる。」とおっしゃって、中の瀬に降り、潜ってすすいだ時に生まれた神は、八十禍津日神（ヤマガツヒカミ生活を不幸にする）・大禍津日神（オホガツヒカミ同上）で、この二神は黄泉の国に行った際の穢れから生まれた神様です。次に、

ご参加の皆様も、真剣に訓練に取り組み、西の市に向けて大変有意義な一日となりました。



こういう二十一世紀は、素晴らしい世の中になると思います。勿論、その反面で、大変に厳しい世の中です。今までの甘いというか、嘘をつくような生活が通用しない訳ですから。これからはそういう魅力の時代です。

その禍を正すものとして生まれた神は、神直毘神（カミナラヒノカミ凶事を吉事にする）・大直毘神（オホナラヒノカミ同上）・伊豆能賣神（イツノメノカミ嚴の意味）、次に水の底ですすいだ時に生まれた神は、底津綿津見神（ソコツツミカミ海を掌る）・底筒之男神（ソコツツウノカミ港を掌る）、中ですすいだ時に生まれた神は、中津綿津見神（ナカツツツミカミ海を掌る）・中筒之男神（ナカツツツウノカミ港を掌る）、水上ですすいだ時に生まれた神は、上津綿津見神（ウツツツミカミ海を掌る）・上筒之男神（ウツツツウノカミ港を掌る）、この三柱の綿津見神は阿曇連達の祖先神として、いつきまつる神である。さらに左の目を洗った時に生まれた神の名は、天照大御神（アマテラスオホミカミ太陽を掌る）、右の目を洗った時に生まれた神の名は、月讀命（ツキヨミカミ月を掌る）、鼻を洗った時に生まれた神の名は、建速須佐之男命（タケハヤサノヲノカミ嵐を掌る）。

この十四柱の神は、身をすすぐことによって生まれた神である。

三貴子の分治

ここに及んで伊邪那岐命は、大変喜ばれて「私はたくさんの子供を生んだが、その最後に三柱の貴き子を得た」とおっしゃって、すぐに首飾りの玉を鳴らしながらそれを天照大御神に授け、「あなたは高天原を治めなさい」と命じました。次に月讀命に「あなたは夜の世界を治めなさい」と命じました。次に須佐之男命に「あなたは海原を治めなさい」と命じました。

去る五月二十一日、当社に於いて防災訓練が行われました。昨年とは違ってかわって晴天に恵まれ、訓練用の消火器を使つての消火訓練を行いました。

★防災訓練開催される

★おとしり節分祭

「節分」の元々の意味は、(せちわかれ)で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指していました。

現在の日本で行われている豆まきは、中国の鬼を追って春に福を求めるとい風俗が起源であるといわれています。春を迎えるにあたって鬼を追うという行事は、日本に於いても、宮中の追儼の行事として大晦日に行われていました。これは新年を迎える準備としての意味合いが強かったが、旧暦の正月は立春と日が近かったため、室町時代の頃からは、意味合いの共通する節分に行う行事になって行きました。

はじめは、節分でも追儼と同じ行事(桃弓・葦矢を持った公卿が、大舎人の扮する鬼を追う)が行われていましたが、応永年間(一三九四〜一四二八年)の史料に「女官・御所持が大豆を打った」との記述があり、この頃には宮中の節分で豆を撒くことが始まっていたことがわかります。

当社に於いても、去る二月三日、平成二十年節分祭が執行されました。

ご参列の皆様は、社殿での修祓の後、瑞鷲渡殿に移り、鳴弦式を受け、続いて災厄消除の願いを込

めて、当日は生憎の雪ではありましたが、多くの参拝者が待つ中で、豆まき神事を盛大に行ないました。

豆まき後の抽選会では多数の豪華景品が協賛者各位から寄せられ大変好評を博しました。紙面をお借りして感謝の念を申し上げます。

節分祭景品奉納者御芳名

ペア食事券 二組

浅草すし清殿

クオ・カード三千円 三枚

五十嵐茂尾殿

ティッシュペーパー 多数

トイレットペーパー 多数

液晶テレビ 二台 白石 勲殿

ビール券 四十枚 福田 功殿

ウエストポーチ 二十個 種田一雄殿

カラダスキャン 山本喜久雄殿

カラダスキャン 四台 大黒章雅殿

カップラーメン 多数

ナカジマ食事券 清田敏雄殿

ナカジマ食事券 五枚 横山一彦殿

ナカジマ食事券 五枚 小川 進殿

商品券 五枚 吉田啓子殿

協賛金 一万円 吉田京子殿

図書カード 十五枚 龜谷誠一殿

サロン 二十七着 川原井利平殿

十八金福鈴 五個 矢ヶ崎正昭殿

お米券 六十枚 西野新一郎殿

女性用靴下 三組 田中常一殿

栄養ドリンク 四箱 大野恵治殿

クオ・カード五千円 四枚 吉田 稔殿

カップ焼きそば 二箱 天鍋うどん 三箱

豆 一箱 (有)久志本殿

ハーゲンダッツギフト券 八組 西野繁男殿

みかん 十箱 西野敏雄殿

醤油 十箱 松下 薫殿

カップラーメン 二十箱 西野幸夫殿

紙風船 多数 花島若吉殿

ゴム風船 多数

iPod shuffle 二台 マルサ齊藤ゴム殿

デジタルキッチンスケール 十台 デジタルセンサースケール 十台

ハロゲンセンサースケール 十台

低反発まくら 六台

スチーム付加湿器 六台

ブーツキーパー 六個

特製図書カード 十枚

食事券 八枚 鷲神社

尚、年男年女として参加された方々・昇殿参拝の方々に、抽選にて、鷲神社金小判、銀小判が授与されました。皆様方のこの一年の無事平安をお祈り致します。

★奉賛青年会より

平成二十年四月より、鷲神社奉賛青年会々長に、熊手商村田商店の村田滋幸さんが就任されました。

前会長の信念を受け継いで、会員の皆様とコミュニケーションをはかり会の運営にあたっていただき、意気込みを語っていただきました。

また西の市に向けては、来ていただいたお客様に愉しんで頂けるように、滞りのない運営を目指したいとおっしゃっていました。

